

学年		組		氏名	
----	--	---	--	----	--

1 次の問題に答えましょう。

(1)  $2.1 \div 0.7$  を、「わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらない」というわり算の性質を使って、次のように計算します。

$2.1$	$\div$	$0.7$	$=$	ウ
↓	$10$ をかける	↓	$10$ をかける	
↓		↓		
ア	$\div$	$7$	$=$	イ

上のア、イ、ウに入る数を書きましょう。(H28)

計算式は、

$$\begin{aligned}
 & 2.1 \div 0.7 \\
 &= (2.1 \times 10) \div (0.7 \times 10) \\
 &= 21 \div 7 \\
 &= 3
 \end{aligned}$$

よって、ア 21    イ 3    ウ 3

(2) 円周率を求める式を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。(H30)

- 1 円周の長さ × 半径の長さ
- 2 円周の長さ × 直径の長さ
- 3 円周の長さ ÷ 直径の長さ
- 4 直径の長さ ÷ 円周の長さ

円周の長さが、直径の長さの何倍になっているかを表す数を円周率といいます。円周率は3.14です。

$$\text{円周率} = \text{円周} \div \text{直径}$$

このことから、3が正解です。

- (3) ある会場に子どもたちが集まりました。  
集まった子どもたち200人のうち80人が小学生でした。  
小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか。  
下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。(H30)
- 1 0.4%
  - 2 2.5%
  - 3 40%
  - 4 80%

割合は、次の式で求められます。

割合 = 比べられる量 ÷ もとにする量

割合を表す0.01を1%といい、1%と書きます。

パーセントで表した割合を百分率といいます。

このことに当てはめると、比べられる量は「小学生の人数」、もとにする量は「集まった子どもたちの人数」であるから、

$$80 \div 200 = 0.4$$

パーセントで表すと40%なので、3が正解となる。

別の解き方) 基準量を100としたときの比較量が百分率であるから、  
子どもたち200人のうち80人が小学生  
子どもたちが100人なら40人が小学生  
よって、40%